

# 子どもから高齢者まで つながりを大切に するまちづくり

問合せ

企画グループ

☎079(435)0356

3月5日の播磨町議会定例会で、清水町長より平成25年度施政方針が発表されました。

その所信について掲載します。第4次総合計画に掲げた「まちづくりの基本目標」の5つの柱に沿って、本年度の主要な事業を説明します。



▲今年度のキーワードは「まちの魅力度UP」

## はじめに

播磨町は、昨年町制施行50周年を迎えました。今年度は新たな半世紀に向けてのスタートとなります。これまで同様、堅実な行財政運営に努めながら、さらなる「まちの魅力度UP」を図り、住民が誇りとするまちづくりを進めてまいります。

さて、昨年、国政においては大きな変化があり、政権交代を受けて景気回復への期待が高まっておりますが、地方の経済・雇用情勢は依然として厳しい状況が続いています。

歳入については、町税で前年度より1.4%増の5億9000万円を見込んでいるものの、歳入の確保については、一段と厳しい状況が続くものと予測されます。

一方、歳出においては、少子・高齢化対策をはじめとした社会保

障関係費は年々増加しており、また、生活環境の整備、安全・安心なまちづくりへの対応など、経常的な経費の増加は必至であると考えられます。

また、災害時には避難所ともなる学校施設等をはじめ、公共施設の老朽化による大規模改修など多額の経費を必要とする事業が多くあります。

このような状況の中で、平成25年度の予算編成にあたっては、「第4次播磨町総合計画」をはじめ、「第4次播磨町行政改革大綱」及びこれに基づく具体的取り組みを示した「行政改革実施計画」を推進するため、施策や事業の的確な評価を行い、優先順位を明確にして、事業の選択を行いました。また、真に必要な事業には重点的・積極的に取り組む予算を編成してまいります。

「播磨町教育振興基本計画」に基づき学校教育の充実に努めているところでございますが、教科専門指導教諭、スクールアシスタントの全校配置を引き続き行い、きめ細やかな指導体制を維持するとともに、「播磨町教育総合サイト」を活用して教職員への連絡を密にし、課題、問題などの共通認識に努めます。

「播磨町教育総合サイト」を活用して教職員への連絡を密にし、課題、問題などの共通認識に努めます。

安心して子どもを生み、育てられる環境を構築するため、特定不妊治療を始めとして、妊娠時の検診の充実、各種ワクチン費用の助成、父子手帳の配布、養育支援訪問事業、今年度さらに一部拡大いたします。医療費の無料化、病後児保育、ファミリーサポート事業など、年間を通じて様々な子育て施策を展開しておりますが、今年度は新たに「水ぼうそう」「おたふくかぜ」についても接種費用の助成を行い、子育て家庭の経済的負担を軽減してまいります。また、「新生児訪問」や「こんにちは赤ちゃん事業」に加えて、「未熟児養育事業」を実施し、未熟児の健やかな成長を支援してまいります。

保育園におきましては、年々入園希望者が増加する傾向にあり、待機児童対策として2園において定員を増加し、保育需要に対応してまいります。昨年公設化に踏み切りました学童保育につきましても、放課後の安全な居場所づくりとして、指定管理者と共にさらな

## やすらぎがあり、健やかに暮らせるまちづくりを進めてまいります

最近の異常気象に伴い、夏季の高温化が懸念される学校教育現場の環境改善を図り、子どもたちに良好な学習環境を提供するため、各小中学校の全教室に扇風機を設置します。なお、幼稚園についてはすでに設置済みでございます。加えて、幼稚園、小学校、中学校の屋外にミスト発生装置を新設し、屋内外における児童生徒の健康管理

の充実を努めてまいります。また、次年度に予定しております「子ども・子育て支援事業支援計画」策定のため、今年度はニーズ調査を行い、幼児期の子ども支援のあり方についてのニーズと現状を把握いたします。

播磨町におきましても、高齢化が進む中で一人暮らしの高齢者も年々増えております。昨年

理に配慮してまいります。また、経年劣化が進んでおります播磨小学校のプールを改修し、水泳授業の環境改善を図ります。

昨年の蓮池小学校、播磨南小学校の体育館に引き続き、今年度は播磨南中学校の体育館の大規模改修を完成させ、教育環境の改善を図るとともに災害時における避難所としての機能も向上させてまいります。また、播磨小学校及び播磨中学校の校舎の大規模改修に向けて、設計業務に着手いたします。

生涯スポーツの場として、多くのスポーツ愛好家が日々ご利用されている総合体育館において、屋上防水工事等を実施し施設の寿命化を図ります。また、体育館に隣接している町民プールにつきましても、昨年から住民アンケートや庁内委員会での存続等について検討してまいりましたが、本年度は住民や学識経験者などにも参画いただき、最終的な結論を得たいと思っております。

文化面においては、文化的資源をまちの魅力を発信する有効な手段として捉え、様々なサークル活動、芸術・文化活動や、大中遺跡まつりを始めとする各種イベント、行事等を住民の方々と共に盛り上げてまいります。今年度は播磨町において「東はりま大茶会」が開催



▲播磨町茶道協会の皆さん

されたから1、300年という大規模な改修を行います。

また、「播磨の国風土記」が編纂されてから1、300年という大規模な改修を行います。



▲大中遺跡まつり古代行列に参加している子どもたち





▲地域の力はまちの底力



▲サマーフェスティバルでふるさと意識の醸成を



▲地域防災力向上のために活躍する消防団女性分団



▲住民力で育つ大中遺跡まつり

地域に愛され、親しまれる整備、活用方法となるよう、地元自治会、漁業組合関係者と検討してまいりたいと思っております。町道浜幹線につきましては、地権者を始め地元の方々のご理解をいただき順調に進捗しており、平成26年度の全面開通を目指し、本年度は向ヶ池南側の道路整備を行います。また、各地で公共インフラの老朽化が報道されておりますが、平成25年度は「本庄下橋」の改修を行い、安全な通行と橋の長寿命化を図ってまいります。

完成いたしました。今年度は駅舎外にエレベーターを2基設置いたします。同時に播磨町駅南広場をバリアフリー化するための設計を行い、まちのバリアフリー化を推進します。

### つながりを大切に作るまちづくりを進めてまいります

例年、全住民を対象とした映画会や講演会の開催、人権啓発資料を通して、差別意識の解消と人権意識の高揚を図っているところでございますが、自治会が主体的に行う取り組みについても支援してまいりたいと考えております。

### 健全な行政経営による持続可能なまちづくりを進めてまいります

町行政におきましては、毎年多くの課題を抽出しながら、行財政改革に取り組んできております。またそうした中でも、国・県からの委譲事務など年々増え続ける業務を、限られた職員数で対応しておりますが、ここ数年で多くの職員が定年を迎えることとなります。3月議会で提案しております「再任用」制度などを活用しながら、職員数の適正化を図り、住民サービスの向上に努めてまいります。

現在、「住居表示案内板」につきましては、設置後かなりの年数が経過していることから、時代のニーズにあわせて、災害時や緊急時の避難先などの表示を盛り込んだ案内板として更新いたします。2市2町で取り組んでおります「ごみ処理の広域化」につきましては、施設の建設候補地がこのたび一箇所に絞られたことから、今後は基本計画の策定など新たな段階へと進んでまいります。播磨町のごみ処理のあり方について、議会とともに将来に向けて責任ある取り組みをしてまいりたいと思っております。

施しております。「救急医療情報キット」を、今年度はさらに多くの方々にご活用いただき、いざというときの安心に備えていただきたいと思っております。

また、住み慣れた地域で安心して介護が受けられるよう、地域密着型のサービスを充実させてまいります。平成25年度は認知症の高齢者用グループホーム事業者を選定いたします。

障がいの有無に関わらず、誰もがいきいきと暮らせる地域社会を目指して、「播磨町地域自立支援協議会」の活性化を図るとともに、役場や公共施設において障がい者の職場実習生を受け入れます。また、在宅の重度障がい者等に対し、医療器材の購入を助成します。

所の指定にも取り組みたいと思っております。

長年の懸案となっており、水田川改修事業につきましては、さらなる進捗と早期完成を目指して、国、県への要望活動を重ねてまいります。また、本年度は町として遊歩道の設計等に着手いたします。喜瀬川につきましては、多くのの方々の散歩コースや通勤通学路としてご利用いただいておりますが、遊歩道の一部に傷みが出てきていることから2カ年をかけて路面改修を行い、安全な通行に配慮してまいります。

下流方面にある「ふれあい散歩道」の転落防止柵も、経年劣化している部分が見受けられることから安全性を考慮し取り替えを行います。

新島内の町道にLED街灯を設置し、夜間の安全性を高めてまいります。また、昨年より実施しております「住宅リフォーム」助成の



▲笑顔の入園式

回収時の容器がドラム缶というところで自治会の方々にもご苦勞をおかけしております。昨年度から一部自治会で試行し、今年度はすべての自治会の回収容器を軽量なプラスチック製のものに取替えます。

また、昨年度の予算で提案し、削除されました駅前イルミネーション事業につきましては、その後、原資となります寄付金をいただいた方のご意向を再度確認いたしましたところ、そのご意思は固く、今回再び上程させていただきます。一般の方々からも望む声が多く、駅前のにぎわい創出のためにも今年度ぜひ実施したいと考えております。

「阿門漁港」の未利用地につきましては、地域からの要望を踏まえ、やホームページ、わくわく講座などを活用し、行政情報の発信に努めてまいります。また、住民協働推進事業についても引き続き実施し、まちづくりの新たな担い手としての活動を、支援してまいりたいと思っております。

サマーフェスティバルにつきましては、昨年は天候にも恵まれ、地域の自治会や各種団体など、多くの方々のご参加を得て盛大に開催されました。播磨町の夏を彩る「まつり」として、実施するNPOと共に町民のふるさと意識の醸成を図ってまいりたいと考えております。